

## 取組み案（長与町）

項目	タイトル	内容
ア	資源マップの作成 重症ではないじょうたいでの緊急時・夜間の対応を整える 医療・介護を追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚ペーパーで作成</li> <li>・診療時間、科目、営業時間、特色、対応可能な情報を共有化できるツールとして作成</li> <li>・医療、介護のすべての事業所がわかるものとする</li> <li>マップを作成する為の会議で情報を共有し、顔のみえる関係にできる（医療と介護の連携）</li> <li>これを機会に相談しやすい関係をつくる</li> </ul>
	医療・介護機関の情報を収集し、マップ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の強みや特色を掲載（例：往診可能な医療機関など）</li> <li>・防災計画マニュアルを作成し、町民へ周知（福祉避難所についても）</li> <li>・事業所や役場の職員間の実習体験</li> </ul>
イ		
ウ	職種：交流会の企画	<p>地域の中で、各事業所が何を行っているか伝えるため交流会を行う。 昼食会を持ち回りで行うなど。 見学会の実施。 行政や医療機関からの参加も願います。</p>
	顔のみえる関係づくりの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後に病院スタッフ（看護師や理学療法士）と一緒に訪問する</li> <li>・入院中に様子を確認しに行く</li> <li>・困難事例については、退院後の様子を病院へ伝える。</li> <li>・困難事例を一緒に解決する。</li> <li>・主治医のもとへ出向く　その際は、先生の都合を考えて、聞きたいことなどをまとめていく</li> <li>・大きな病院の場合</li> </ul>
	切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推	<p>入院した時に退院後のことを明確にするためにも、元気なときから（入院前から）、意向を（今後について）考えておく</p>
エ		
オ	ワンストップ窓口の設置	<p>医療・医療介護の相談をすべて担う、 365日・24時間対応が必要（電話だけでも行うことができれば） * 週末しか相談できない家族もいるため。</p>
カ	多職種連携の研修会の開催 （長与町開催のケア連絡会へ医療職にも入ってもらおう）	<p>5～6月までに準備を行う 5～6月の休日前の日 場所：文化ホール　対象：庁内の介護職・医療職　内容：利用者は発する身体的サインの勉強会</p>
	他職種交流会と研修会の企画	<p>集まって話をするところから。まずはコミュニケーションを図る。 金曜・夜間・ふれあいセンター</p>
キ	社会資源情報の提示（家族を介護に引き込む）	<p>サービス内容、施設等をリスト化する。 病院・紙資源等 各職種ごと紹介を住民に対して行う。 社会資源を各職能団体ごとの取り組みでまとめたリストがあると思われるので、行政に持ち寄る</p>
ク		